

あかりの家

題字：奥谷 浩三
(職員と共作)

No.21

発行：2011年8月

発行者：社会福祉法人 あかりの家



介護ベッドのサイドレール清掃作業（ゴトウ班）

もくじ

特集 あかりの家25周年	6
ダイナミックリズムはじめました！ あかりの家 体操クラブ	2
ご存じですか？地域自立支援協議会 あかりの家地域支援室	3
職場見学会の行き先は!? ワークホーム高砂	4
介護ベッドのサイドレール清掃作業スタート あかりの家 ゴトウ班	5
おいしい納豆づくりが行われています ケアホーム希望山荘日笠	5
増加している成人期相談～現状と支援～ ひょうご発達障害者支援センター クローバー	10
あかりの家 自閉症療育のキーワード集(8)	11
あかりの家イロイロ情報局	12



あかりの家 体操クラブ

ダイナミックリズム(DR)はじめました!

あかりの家では、月2回日曜日の午後に体操クラブを行なっています。今年度から新しくダイナミックリズムを参考にしたメニューを加えました。

地元の公民館をお借りすることができて、以前より広い場所で伸び伸びとできるようになりました。そして、7名だったメンバーも20名に大幅に増やすことができました。



うずまき発生中!!

走ったり、歩いたり、ダンスしたり
目標は、ダイナミックなうずまき作りです

ダイナミックリズム(DR)とは?

ダイナミックリズム(DR)は、集団で音楽リズムに乗って、いろいろな動作運動をします。

集団行動の経験のない(言語認知)障害者・児でも、集団行動が取れるように考案されたプログラムです。障害者・児の途切れがちな行動リズムを整え、自立動作(他者からの接触による受け身動作でなく自分の力で規則的にする動作)を身に付けることがねらいです。

[コロロ発達療育センターHP引用]



片膝立ち

他にも、膝立ち・オットセイ等の模倣動作、スクワット、片足ケンケンなどの移動大運動をしています。正座で待つこと、カウントに合わせて動くこと等の課題が散りばめられています。

体操という課題をとおり、集団の中で動くことで、関わりが持ちやすくなります。

また、共に頑張り、できた時の達成感や喜びを共有できることがあかりの家の体操クラブの魅力だと思っています。

うれしい変化です

◆Sさんの休日が変わってきています◆



なかなか膝が伸ばせません



5回目の挑戦で…成功!

休日の何もない時にはトイレが気になって落ち着かなかったSさん。クラブに参加するようになり、トイレを気にせずに過ごせています。

また、最初はできなかったオットセイも、何度も支援員と練習をして5回目の参加の時にはできました!自慢げな笑顔が見られ、自信にもなっているようです。体操クラブに参加し、Sさんの休日が変わり始めています。

あかりの家地域支援室

ご存じですか?

地域自立支援協議会

地域づくりの新たな試みとして「地域自立支援協議会」が各地で開催されています!
あかりの家地域支援室からも100回(H22年度)を超える会議に参加して、地域づくりを推進しています



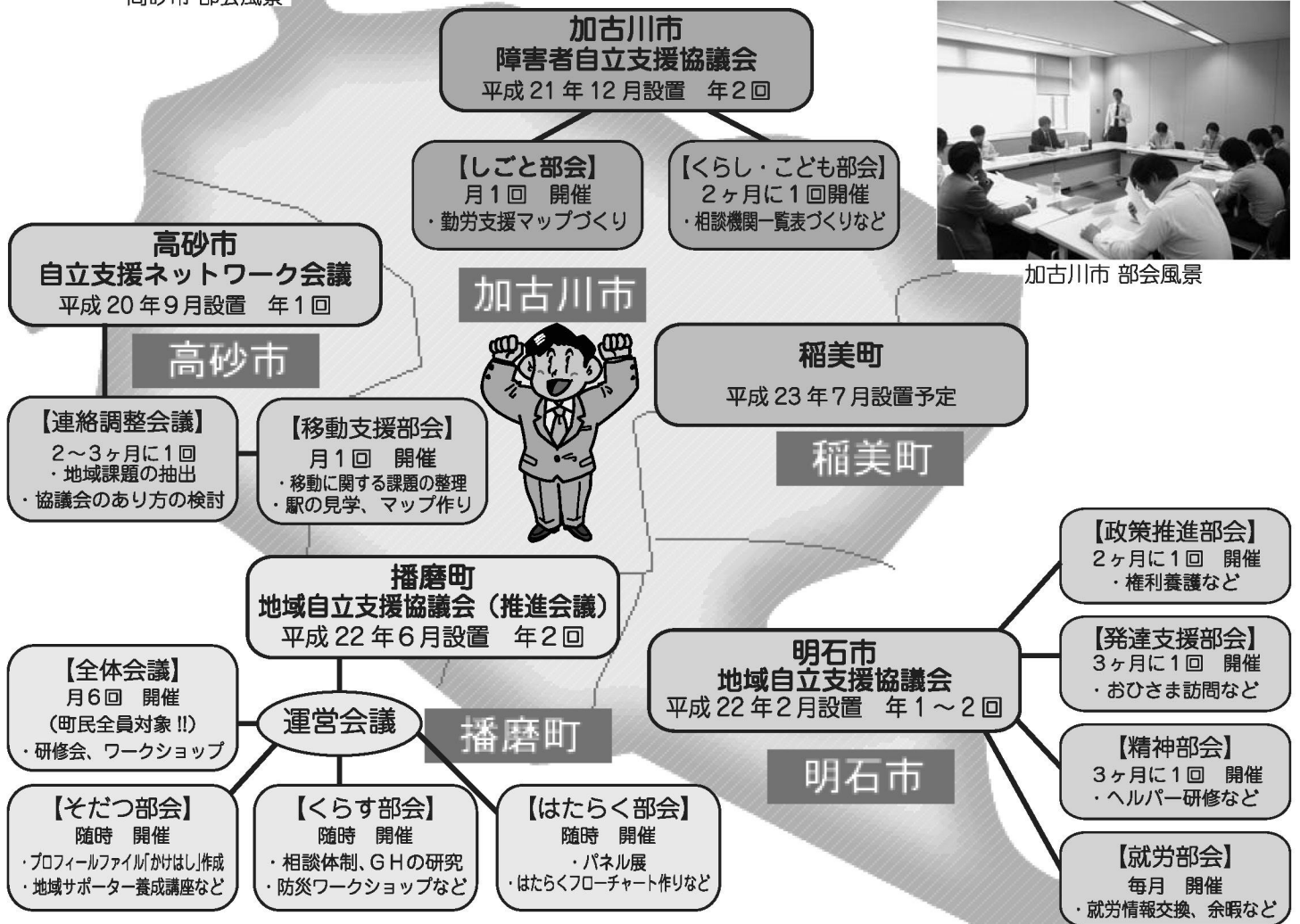
高砂市 部会風景

「地域自立支援協議会」とは!!

「地域自立支援協議会」は、平成18年4月に施行された障害者自立支援法において、誰もが安心して暮らし続けることができるような仕組みを、地域の様々なメンバーと一緒に考えていく会です。“本人の声”を地域に“つなぎ”、みんなで考えていくことがこの協議会の大切な視点となります。



加古川市 部会風景



播磨町ワークショップ風景

協議会に期待するもの!!

あかりの家地域支援室では、皆さんから寄せられる相談の中から、地域が抱えている「課題」を見つけ、「暮らしやすい街づくりへの提案」を協議会に挙げていきます。
誰もが共通に持つ「こうなれば住みやすくなるのにな」との思いを既存のサービスや資源の枠を少しずつ広げたり、整理したり、新たに資源を開発するとで今よりも住みやすい社会へ改善できることを期待します。また、この協議会を通して、人と人のネットワークが広がり、地域の中での関係が深まることも大きな役割であります。

ワークホーム高砂 職場見学会の行き先は・・・!?

わたしたちがクリーニングしたものを使っていたら
老人施設に行ってきました

昨年11月、職場見学会で行った先は、自分たちがクリーニングしたものを使っていたら老人施設でした。シーツやユニホームがいっぱい置いてあって、参加者全員感激しました。

見学先の職員さんが、わたしたちの仕事に満足してくださっていて、うれしいのと同時に、頑張ろうという気持ちで帰ってきました。

見学させていただいた老人施設
老人保健施設 カノープス姫路さん
介護老人保険施設 エスコート船場さん
介護老人保健施設 しおぎきヴィラさん
ありがとうございました



ワークホーム高砂の商品が置いてあるところを見せていただきました



わたしたちの商品がいっぱいあって、使ってもらっているのがビックリした

わたしが、たんだ商品を使ってもらっていて、すごくうれしかった!!

みんなよろこんでいて、もっと、もっといねいにします

見学先の職員さんは・・・

ワークホーム高砂で全ての商品をクリーニングしていることを初めて知ってたいへん驚かされていました。

「いつも、汚れもなく、キチンとたたまれていて、ベッドメイキングしやすいので喜んでいきます。」と、うれしいお言葉もいただきました。



見学先の職員さんとベッドメイキング体験
もちろんワークホーム高砂の商品です

ケアホーム 希望山荘日笠 納豆づくりをしています

ケアホーム希望山荘日笠では、ボランティア 見守る会のみなさんに納豆作りをしていただいています。

すこしでもケアホームの運営に役立てればうれしいと頑張ってくださいています。



見守る会のみなさんの手で、北海道から直接仕入れた大粒の大豆から、おいしい納豆ができていきます



長年使い込んだ
年入りの圧力釜



品名 納豆 (内容量 45g)
原料 北海道十勝大豆 からしたれ
賞味期限 2011. 8. 14
製造所 高砂市曾根1704 希望山荘日笠
販売者 今津 房子
保存要冷蔵 5℃以下 冷蔵可

あかりの家 ゴトウ班 介護ベッドのサイドレールの清掃作業スタート

あかりの家では、昨年9月から新しい作業にチャレンジしています。

(株)ゴトウ・アズ・プランニングに紹介していただいた、介護ベッドのサイドレールの清掃作業です。

そして今年の5月、できるだけ地域に出て働こうということで、松本商会さんのご厚意で、ワークホーム高砂の横の作業場をお借りして、作業に励んでいます。

汚れを拭き取り、消毒する作業ですが、汚れは時間が経つと浮き上がってくることもあり、難しい作業です。職員が最終チェックをして、病院や施設で使われています。



たくさんの人に支えられて あかりの家 25周年

旅行



親子1泊旅行で
ディズニーランドに
(1999年)



レインボーティ

クラブ活動



アートクラブ



華道クラブ

2005 平成 17 年度

- *くすのき公園の清掃開始
- *ひょうご発達障害者支援センターに名称変更
- *加西、芦屋にランチ開設(クローバー)

2004 平成 16 年度

- *「強度行動障害者特別支援加算事業」開始
- *「家庭療育支援講座」開始(クローバー)

2003 平成 15 年度

- *ワークホーム高砂開設
- *ひょうご自閉症・発達障害支援センター クローバー開設

2002 平成 14 年度

- *グループホーム「希望山荘 日笠」仲間入り
- *美化センター作業終了
- *パチンコ作業班・ハタ作業班開始
- *「自閉症療育のキーワード集」発行
- *四郷分場閉鎖

2001 平成 13 年度

- *「障害児(者)地域療育支援事業」開始
- *全国障害者スポーツ大会参加
- *プレハブ作業棟解体
- *個室化推進(4個室完成)

2000 平成 12 年度

- *西作業棟完成
- *職住分離進む ケーブル作業班開始
- *ホームページ開設・Eメール設置

1999 平成 11 年度

- *「あかりの家四郷分場」開設(姫路市四郷町)
- *親子1泊旅行でディズニーランドへ
- *「新任職員研修プログラム」作成

1998 平成 10 年度

- *「第12回全国自閉症者施設協議会兵庫大会」主管
- *あかり喫茶 開店(地域交流ホーム)

1997 平成 9 年度

1996 平成 8 年度

- *10周年記念式典行事開催
- *2フロアー制導入

1995 平成 7 年度

- *「先進施設現任訓練」(1週間)開始
- *「姫路親子体操教室」開始

1994 平成 6 年度

- *高砂マラソン初出場
- *「あかりの家事例研究会」開始
- *「高砂親子体操教室」開始
- *地域交流ホーム完成
- *阪神大震災に伴い職員派遣・ショートステイ(短期入所)の実施
- 以降ショートステイに本格的取組み

1993 平成 5 年度

- *「全国自閉症者施設協議会」加入

1992 平成 4 年度

- *施設外作業形態(職住分離)の導入
- *ナイスハートバザールあかりの家 開始
- *クラブ活動の導入(華道クラブ開始)

1991 平成 3 年度

- *レインボーティ(小グループ別日帰り旅行)開始
- *作業棟(プレハブ)完成
- *さきおり班開始

1990 平成 2 年度

1989 平成 元 年度

- *協同歯科(現:生協なでしこ歯科)検診開始

1988 昭和 63 年度

- *「あかりだより」創刊
- *マスキ班作業開始

1987 昭和 62 年度

1986 昭和 61 年度

- *社会福祉法人あかりの家 設立
- *「第1回あかり祭り」開催
- *第1回親子旅行で姫路セントラルパークへ

1980 昭和 55 年

- *自閉症の子どもをもつ3人の母親が、自閉症者更正施設建設を呼びかけ

四郷分場

1999年～2002年

姫路市四郷町に
あかりの家の通所型分場ができました
クリーニング作業をしていましたが
ワークホーム高砂に引き継がれました



障害者支援施設あかりの家の作業

職住分離を目指して

ハタ班(2002年～)
職住分離目指して地域に出て作業しています



さをり織り班(1991年～)



軽作業班(2007年～)



軽作業棟
(2008年完成)



地域と



あかり祭り



高砂マラソン参加



あかり喫茶
(1994年～)



地域交流ホーム
(1994年完成)

あかりの家 25周年

障害者支援施設あかりの家

1986年4月設立 満25歳になりました



フロア制の導入 1996年～

食事もフロアごとです
2002年から
お楽しみメニューが
できました



個室化推進 ～2006年完成

ケアホーム希望山荘日笠

2002年仲間入り

2007年に開設15周年を迎えました



太陽光発電・バリアフリーなど設備は最新です

2006 平成18年度

- *フロア別旅行-4月
- *第29回高砂市美術協会展出展 布施さん奨励賞受賞-4月
- *2市2町相談支援事業開始-5月
- *保護者通信「あかりっこ」200号-5月
- *個室化等居住改善工事完成-6月
- *短期入所事業定員6名に-6月
- *2フロア制から3棟制に-6月
- *パチンコ班終了-6月
- *進入路看板リニューアル-7月
- *第19回あかり祭り(最終回)-8月
- *ケアホーム「希望山荘日笠」に名称変更-10月
- *親子一泊旅行で後楽園へ-10月
- *「地域療育等支援事業」(指定相談支援事業所)終了-10月
- *ワークホーム高砂 職場見学会でサントリー高砂工場へ-12月
- *第13回あかりの家事例研究会-2月
- *ワークホーム高砂 慰安旅行で京都、吉本新喜劇へ-2月
- *ワークホーム高砂 近隣の小学校の児童が見学・体験に来る-2月
- *職員研修会で笹森理絵先生を招く-3月
- *全自閉症者協会京都大会発表・報告-3月
- *ケアホーム希望山荘に太陽光発電設置
- *自閉症者施設サービス評価基準作り(全自者協)に参加
- *クローバー「家庭療育支援講座」(保健所対象)開始

2007 平成19年度

- *「障害者等相談支援コーディネイト事業(県)」開始-4月
- *「障害児等療育支援事業(県)」開始-4月
- *「強度行動障害特別処遇」終了-4月
- *ワークホーム高砂 職場見学会でキッコーマン高砂工場へ-9月
- *親子一泊旅行で倉敷チボリ公園へ-10月
- *アース製菓(株)製品リサイクル作業開始-10月
- *ケアホーム「希望山荘日笠」15周年-11月
- *クローバー「厚生労働科学研究」分担研究-1月
- *ワークホーム高砂 慰安旅行でハッ橋作り、太秦映画村、関西国際空港へ-2月
- *第14回あかりの家事例研究会-2月
- *作業倉庫完成-3月
- *職員研修会で永田接骨院・永田雄三先生を招く-3月
- *「平成19年度障害者自立支援調査プロジェクト」(厚労省/全自者協)に参加-3月
- *クローバー 相談実人数 延べ1,500人超

2008 平成20年度

- *自立支援法改定に伴い、障害者支援施設あかりの家に名称変更-4月
- *障害児等療育支援事業(姫路)開始-4月
- *地域支援室設置-4月
- *通所者(日中・生活介護)受入れ開始-4月
- *3棟制から2フロア制に戻す-4月
- *ワークホーム高砂 職場見学会で旭硝子(株)・グローリーフレンドリー(株)キリンピアパーク神戸・アサヒ飲料(株)へ-9～12月
- *親子一泊旅行で和歌山マリーナシティへ-10月
- *軽作業棟完成-12月
- *ケーブル班終了-1月
- *ワークホーム高砂 個別支援活動開始-1月
- *第15回あかりの家事例研究会-2月
- *ワークホーム高砂 慰安旅行で宝塚歌劇へ-2月
- *クローバー「厚労省発達障害者就労支援者育成事業」受託-2月
- *ケアホーム「希望山荘日笠」にスプリンクラー設置-3月
- *職員研修会で永田接骨院・永田雄三先生を招く-3月
- *さきおり班終了-3月
- *「平成20年度障害者自立支援調査プロジェクト」(厚労省/全自者協)に参加-3月
- *クローバー「発達障害者支援BOOK」発刊-3月

これからもよろしくお願ひします

2009平成21年度

- *ワークホーム高砂 洗濯業務をMAOコーポレーション(現:ゴトウ・アズ・プランニング)専任体制となる-4月
- *さをり織り 常設委託販売先開拓(4カ所)-7月
- *サマーディサービス高砂市事業受託-7月
- *厨房床等改修工事-8月
- *テック班 電気線解体作業開始-9月
- *ワークホーム高砂 職場見学会で(株)エスコアハーツ・ヤマト運輸(株)へ-9月
- *親子一泊旅行でニューレオマワールド・うどん作りへ-10月
- *「あかりの家知識最低基準」作成-10月
- *永田接骨院の往診スタート-11月
- *ワークホーム高砂 ばんたんゆうあい文化祭に初出演-12月
- *第16回あかりの家事例研究会-2月
- *外壁塗装工事-2月
- *ワークホーム高砂 慰安旅行で親子一緒に琵琶湖・信楽方面へ-2月
- *ワークホーム高砂 ミニ実践事例集 事例研究会冊子に初掲載-2月
- *職員研修で青山新吾先生を招く-3月
- *ケアホーム「希望山荘日笠」火災警報・通報設備取付工事
避難路修復工事、バリアフリー工事-3月
- *クローバー「ペアレントメンター養成研修」実施
- *クローバー 相談実人数 延べ2,500人超

2010平成22年度

- *第33回高砂市美術協会展に出演 2作品が奨励賞受賞-4月
「僕のバズル」 正木さん
「抽象画」 正木さん・宇都宮さん・福崎さん
- *ワークホーム高砂 自閉症支援部創設-4月
- *静養室改修、相談室とする-5月
- *屋根全面改修工事-6月
- *あかり祭り再開-8月
- *男子風呂湯改修工事-8月
- *簡易ベッドのサイドレール メンテナンス作業開始(ゴトウ班)-9月
- *全国的障害福祉関係職員研究大会分科会(司会、発題)-9月
- *親子一泊旅行で三重県信楽陶芸村・ウイナー作りへ-10月
- *職員研修会でトモニ河島先生・高橋先生を招く-11月
- *ワークホーム高砂 ばんたんゆうあい文化祭に出演-12月
- *第17回あかりの家事例研究会-2月
- *北脇自治会新春ハイキング参加-2月
- *ワークホーム高砂 慰安旅行で淡路島へ 初の1泊旅行-3月
- *クローバー「家庭療育支援講座スタッフマニュアル」発刊-3月

あかりの家地域支援室

2008年設置

療育相談の他
ショートステイや親子体操教室など
地域との窓口です



親子体操教室



ワークホーム高砂

2003年開設

通所授産施設で
シーツなどのレンタル介護用品の
クリーニングをしています



ひょうご発達障害者支援センター クローバー

2003年開設

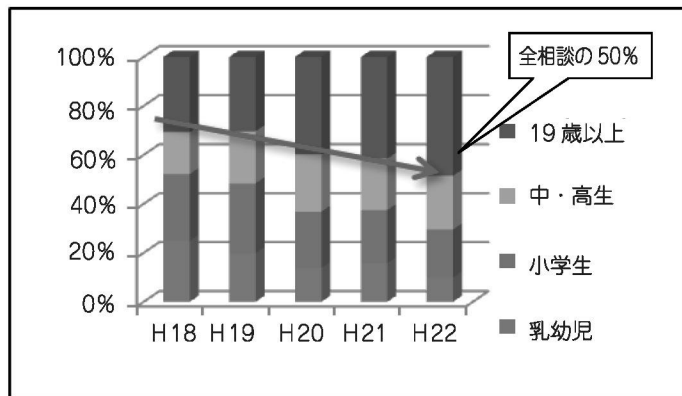
家庭療育支援講座をはじめ独自の講座や研修を行い
また地域の相談窓口の役割も担っています



ひょうご発達障害者支援センター クローバー

増加している成人期相談 ～現状と支援～

近年、ひょうご発達障害者支援センターでは成人期(19歳以上)の相談が増加しています。日々の生活や就業等においてしんどさを抱え、何かしらの方法で発達障害のことを知り相談に来られることが多く見られます。



(表) 年齢別相談支援件数

成人期の相談内容は多岐に及ぶことが多いのですが、「長年自宅にひきこもりの状態である」、「就職したが、職場の人間関係がうまくいかない」、「家庭での暴力行為が見られる」などです。多くの事例が、障害特性からくる分かりにくさや、言葉の捉え方の違いなどから問題が深刻化していることが見受けられます。基本的な支援の流れは、①状況(本人、場面)の聴き取り、②具体的な対応提案、③対応の評価になります。

ここでは、事例を通して、クローバーでの成人期相談の実際を紹介したいと思います。

《事例①》

専門学校への通学時の電車内で女性をカバンでたたき、傘でつつくなどを繰り返していたことから、家族の接し方を知りたいとのことで母親が来所。

状況を詳しく聞くと、満員電車の中で視界に入った今風の若い女性をカバンで軽くたたいたり、傘で足を突いたりしていることが分かった。理由として、テレビのニュースで、朝の電車が遅延したことを若い女性が運転手に厳しく責め立てている様子を見て自分の好きな電車や車掌を責めている女性に対して怒りを覚え、次第に「若い女性が車内にいるとそのニュースのことを思い出してイライラしてやってしまう」ようになった。しかも実は満員電車が苦手だったが、家を出る時間と学校到着時間を決めていたので新快速に乗らなければ間に合わなかった。

具体策として①家を早く出て人の少ない列車を利用する、②叩くことや叩かれた女性の気持ちを図で示して説明する、③本人がいかにイライラするかを聴く、④医療機関での投薬の主に4点を行った。①ができた時は、すぐにほめることを続ける内に女性への行動はなくなっていった。専門学校卒業後、障害者雇用枠で就職し、シヨブコーチ等の支援を受けつつ休まず働いている。そうした中、家庭生

活での問題が浮上した。「歯磨きをしない」「夏場でも毎日洗髪しない」「食べたゴミをカバンの中に入れてそのままにする」「小遣いがなくなる不安を執拗に訴える」など。小遣いの不安については、毎日のレシートをノートに貼ってクローバーでの面接で1ヶ月の支出額を確認、記録を行った結果、本人の中で支出の見通しがつき不安を訴えることが軽減した。また、歯磨きや洗髪、ゴミ処理についても本人の行動スケジュールを細かく確認し、いつ・何をどのようにするのかを一緒に考えて実践・確認することでできるようになっていった。

《事例②》

高等学校の時に足の軟骨除去の手術をして松葉杖をついて学校に行っていることを馬鹿にされ、不登校となる。その後フリースクールに通うようになるが、高校時代に馬鹿にされた生徒に似た生徒が入ってきて通えなくなり、その後、ひきこもり状態になる。

母親から相談があり、まずは、外に出る機会を作っていくことで確認。本人が、クイズを作ることに関心があり、クイズをしたい人がいることを伝えてもらい、母親と共に来所してもらうことが出来た。月1回来所を続けていき、その中で、①クイズを一緒にする、②パソコンでの文章入力、③家でのお手伝いを考えることを一緒に考えていくことを行う。パソコンでの文章入力に関心を持ち、障害者の職業訓練機関でのパソコン指導を受けることに繋がった。

また、聞き取りを行うと家族への暴言、物を投げるなどの行為が見られたため、どういった場面で見られるかを見ていき、「家族が急に自分の部屋に入ることや、出来ていないことを咎められる」という場面であった。暴言や物を投げる行為はよくないことを伝え、部屋への入室時方法など、家族と一緒に約束事を決め対応することで軽減した。

叩く事はよくないことです。お母さんは限界に来ています。以下の約束を守ってください。守らないとお母さんと一緒には住めなくなります。

- ①家族への暴言や物を投げることはしない
- ②近隣に迷惑をかけない
- ③毎日職業訓練に通う

平成 年 月 日 氏名 ○○ △△
和田 康宏

(表) 約束事の場合

相談に来られる方や家族が困られていることをしっかり聴き、状況の整理を行い、出来るだけ具体的な対応方法の提案と実施しての状況の評価を行います。そうした対応方法の提示と肯定的な評価、本人、家族の継続的な努力によって問題の改善が見られることがあります。

これから一人でも多くの方の支援を行うと同時に、こうした支援が身近な地域で受けられる体制作りにも力を入れていきたいと考えています。

(センター長 和田 康宏)
(相談支援員 谷奥 裕一)

あかりの家 自閉症療育のキーワード集(8)

第17回あかりの家事例研究会 研究誌より

あかりの家の<実践の中で得たエッセンスをことば>に始めて9年になる。以下、『第17回あかりの家事例研究会』(11.2)研究誌の「あかりの家自閉症療育のキーワード集11年版」からの抜粋である。

39 明快・先取り・方向の示唆

Hさんにとっての食堂は、Aさんの声とかBさんの視線など苦手な刺激が多い。Hさんはその食事場面で、声かけに動けなかったり、時にはコップや靴を投げたりする。

そこで、「賢い人は○(マル)、賢くない人は×(バツ)です。×の人に対してはUさん(支援員の私)は怒ります。」という明快な約束を考えた。同時に、他の場面でも、良い事は「○だね。お姉さんだね。」と褒め、悪いことに対しては、「それは×だね。それは許しません。」と強く注意した。そして、何かをする前に「○でやってね。」と事前の声かけも始めた。

そのうち、「○できる!」という返答や、「○できた!」と報告が返ってくるようになった。今では「○で終わってね。」と言っておくことで、食堂でのトラブルは激減した。

145 メガネがこわい! —ゆっくり、ゆったり、受け止めて—

「メガネを壊されないように!」4月当初、先輩職員からFさんについてそんな忠告を受けた。聞けば、毎年、新任職員の何人かはメガネを壊されていた。

ある時、それを忘れてFさんの側に近寄った。すると、忠告どおりFさんの手が僕のメガネをめがけて飛んできた。間一髪であった。

次の機会、Fさんの隣に座る前に「Fさん、メガネをとらないでね。このメガネはとても高いのだから。とるときには、『とります、壊します』って教えてよね」と。そして、時々「メガネとらないでね」と言いながら、30分近くを過ごした。

数日後、またFさんと一緒になった。僕は、前回と同様に、「メガネとらないでね」と言おうとした。そのとき、Fさんが突然「メガネこわいです!」と言い、上目遣いで僕を見ていた。「そうか、メガネが怖かったんだね、だから、メガネをねらってたんだね。ごめん、ごめん、メガネを外すからね」僕は、直ぐにメガネをポケットに片付けてFさんの側に座った。「これで、いいかな?」、メガネを外して僕はFさんにそう聞いてみた。彼女は、静かに頷いた。

それから僕はこう言うことにしていた。「Fさん、メガネをしているけれどいいですか。メガネを外すとFさんのきれいな顔が見えないからね」と。あれから一年近く何もなくなつて、メガネを意識することも少なくなっている。こうして、Fさんとの距離が、「メガネ」の話題をとおして近くなったように思う。

※「メガネがこわい」ということについても、少し考察を加えて、別でキーワード化した。

188 新人の、私の緊張から…

Jさんがやたらと私の事を気にし出したのは8月。9月と11月にメガネを2回壊させてしまった。11月には風呂場でお湯をかけられた。私が対応すると「ヒー」という声を出し始めた。私が悪い影響を及ぼしている事に、情けなく悔しかった。

見るに見かねたH主任が、12月に応援してくれた。Jさんは主任を前にすると、私とは全く違って、視線を合わせて神妙な面もちで話を聞いていた。主任が「Yさん(私)の話を聞くように」といって、Jさんを私に向けてくれた。そうすると、不思議なくらい視線が合い、「話を聞いて欲しいこと」「メガネを壊したり水をかけたりしない、まともなおつき合いがしたいこと」「失敗させ

ないように応援していること」を話し、Jさんは聞いてくれた。

これを機会に視線が合うようになった。いくらかでも話を聞いてもらえるようになった。驚くほどのいきなりの変化であった。今も続いている。

振り返れば、失敗を繰り返す中で私はかなりの緊張状態であった。私の顔を見ただけで手が上がってきたり、ニヤけたり、ヒーという声が出てしまう。それを何とかしなければと焦っていた。肩に力が入り、表情も近寄りたいたいものがあったに違いない。

Jさんにしてみれば、必死で鉄砲を撃ってくる私は、何をしてくるかわからない脅威であったのだろう。メガネ壊しや水かけは、脅威に対する防衛が反発であったのかも知れない。いずれにしても、私が関われば関わるほど、Jさんをどんどんおかしくさせていたのは間違いない。

それを、Jさんも私も、先輩が作ってくれた土俵に入って、お互いに力が抜けて向き合うことができたのだろう。

大きな一歩であった。やっとであるが、スタートラインに立てた喜びがある。

191 つきあいのはじまり

Lさんはよく奇声が出る。嫌いな場面で特にやすい。奇声が出ると「大きい声出さないで!」と注意するが、更に大きな声を出させてしまう。ある日、作業中に大きな声が出た。その時、「この糸……」というのが聞き取れた。「この糸が何て?」と聞くと、「この糸スキ、この糸キライ」とのことだった。

大きな声は嫌になった時の叫びだと思っていたが、全てがそうではないらしい。それを知ってから、大きな声が出ると「何て言ったん?」と聞くようになった。

最初は逃げられていた。それでもくっついていき、3回、4回と聞くと、「○○って言うた」と答えてくれた。それを毎回続け、一週間ほど経つと一回で答えてくれるようになった。先日は、「キャキャって言った」と答えた。「何て?」と聞くと「作業イヤ」と答える。嫌になって意味のない言葉を叫ぶことも分かった。答えてくれると、「ゆっくり言って」など伝え方を教えることができる。丁寧に説明すると、本人も「うん」と素直に聞いてくれることが多い。奇声の後に会話ができるようになった。

212 前回大失敗、次は絶対失敗できない!

Gさんの前回の入院は大変であった。前々回の入院は大きな問題はなかったのだが。

しかし、前回は、緊急で突然に手術・入院となったことで、納得できなかったのが、手術室でも術後のベッドでも大暴れであった。

とは言え、退院時、半年後には再手術が決まっていた。

それをどう迎えるか。いつ、誰が、どういった形で伝えるか、絶対に失敗は繰り返せない!と、号令がかかった。

早く伝えると、施設から無断外出したり、通院途中に車から飛び出すかもしれない。そういった心配が家族にあった。だから、病院に行ってから伝えよう、という考え方になる。

しかし、我々には納得して病院に連れて行きたいという思いが強かった。病院に向かう前にしっかり伝えようということである。もしトラブルがあっても引き受ける覚悟でいた。

結果、<あかりの家>で、<手術当日>の、朝引継ぎ後の<トラブル>があっても対応できる時間帯に、通院に付き添うことになっている<選ばれた職員>が、伝えることを選んだ。

そして手術当日、居室に呼んで、「今日、手術をしてもらうからね」「(Gさんにとって)大事なことから、落ち着いて診てもらおうな」。そして、入院に持参するパジャマ、ひげそり、スリッパを見せながら、「手術が終わったら、入院するからね。あかりには帰ってこないよ。」としっかり伝える。取り乱した様子もなく「ハイ、ハイ」とうなずく。

その後、出発前にパジャマを支援員室から取り出すと、それを見てさっと立ち上がる。そして、病院までの車での移動、診察、手術そして3週間余の入院も、大きなトラブルなく無事退院した。

表出言語はほとんど無いGさんであるが、基本的なことは十分伝わったと考えた。

あかりの家イロイロ情報局

療育相談 お気軽に!!

TEL 079-254-3292
FAX 079-254-3403

あかりの家
相談支援員
石井まで

障害児等療育支援事業

在宅障害児(者)及び家族を対象とした相談・療育を行う事業です。当事業では専属のスタッフがご相談をお受けします。ご相談をお受けした後に療育担当職員が以下のような支援をいたします。

- I: お宅にお伺いしてご相談をお受けします。 (在宅支援訪問療育等指導事業)
- II: あかりの家に来ていただいて、ご相談等をお受けします。 (在宅支援外来療育指導事業)
- III: 通所施設、学校、保健所などにお伺いして、ご相談をお受けします。 (施設支援一般指導事業)

短期入所事業・日中一時支援事業

行動上の問題や、家庭のご都合などで、一時的に施設をご利用いただけます。昨年度は、自閉症の方を中心に、延べ2,949日の利用がありました。

親子体操教室

お母さんが、子どもの身体に働きかけながら、バランスある受容と主導の力をつけ、親と子のよい関係を作るための応援もしております。

自閉症専門図書・VTRの貸出

あかりの家では、自閉症に関する専門図書、ビデオを約400冊保有し、希望する方に貸し出しています。

地域交流ホームの開放

あかりの家では、地域福祉の活性化のために、地域交流ホームを、障害のある方たちの活動や、ボランティアグループの会議などにご利用いただき、施設と地域との交流の場として開放しています。

さをりの会 ボランティア募集中

さをりの反物を商品化する **さをりの会** に参加して下さる方を募集しています。多くの方々のアイデアを集めて皆さんに喜んでいただける、よりよい商品を作りあげていこうと考えています。興味のある方はぜひ一度お立ち寄りください。

日時: 月2回の土曜日 10:00~12:00 ※都合により変更する場合があります
場所: 障害者支援施設 あかりの家 さをり作業棟

ナイスハートバザール

今年も高砂アスパさんの協力を得て開催いたします。さをり織り・さきおりともあかりの家のオリジナリティ溢れる商品を販売しております。ぜひとも足を運んでみてください。

11/5(土)・11/6(日)
高砂アスパにて



社会福祉法人 あかりの家の状況 (H22年度)

一般会計		(単位:千円)		授産会計		(単位:千円)	
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
自立支援費収入	272,006	人件費支出	227,444	授産事業収入	13,860	授産事業支出	13,528
補助事業収入	26,396	事務費支出	23,427	自立支援費等収入	67,857	人件費支出	45,067
事業収入	381	事業費支出	32,024	補助金収入	1,524	事務費支出	3,777
助成金収入	300	経理区分間繰入金支出	23,785	経常経費補助金収入	320	事業費支出	6,444
経常経費補助金収入	26,624	固定資産取得支出	1,853	寄付金収入	3,750	借入金利息	346
寄付金収入	5,250	借入金元金償還金支出	120	雑収入	453	会計単位間繰入金支出	1,260
雑収入	3,552	その他支出	3,154	借入金利息補助金収入	173	固定資産取得支出	102
受取利息配当金収入	102	当期繰越金	55,688	受取利息配当金収入	24	借入金元金償還金支出	5,220
会計単位間繰入金収入	2,623			施設整備等寄附金収入	1,500	その他支出	563
経理区分間繰入金収入	23,785			その他収入	308	当期繰越金	13,462
施設整備等補助金収入	780						
施設整備等寄附金収入	1,000						
その他収入	4,696						
合計	367,495	合計	367,495	合計	89,769	合計	89,769

〈社会福祉法人 あかりの家 利用者状況(平成23年4月1日)〉

あかりの家	〈施設入所 定員40名、現員40名(男31名、女9名)〉 〈生活介護 定員 40名、現員41名(男32名、女9名)〉	1. 出身別利用状況	高砂市(30) 加古川市(20) 姫路市(13) 播磨町(5) 加東市(1) 明石市(1) 神戸市(10) 尼崎市(2) 小野市(2) 県外(1)
ワークホーム	〈定員36名、現員39名(男27名、女10名)〉	2. 年齢	あかりの家 最年長 56歳、最年少19歳、平均 施設入所39.2歳 生活介護38.9歳
ケアホーム	〈定員5名、現員5名(男4名、女1名)〉		ワークホーム 最年長48歳、最年少18歳、平均30.1歳 ケアホーム 最年長75歳、最年少41歳、平均54.8歳

編集後記

阪神タイガースがバックスクリーン3連発で優勝した翌年、昭和61年に、あかりの家は誕生しました。そして、そのまた翌年に私が生まれました。

今回、あかりの家を色々な角度から見てきて、色々なことがあったということを知りました。たくさんの方々に支えられ、たくさんの方々の思いが詰まった25年だったので。私もあかりの家のようにたくさんの方々に支えられてきたんだと思いました。(S.H)

社会福祉法人 **あかりの家** 〒671-0122 兵庫県高砂市北浜町北脇504番1 TEL(079)254-3292 FAX(079)254-3403
URL http://homepage2.nifty.com/akarinoie/ E-mail akarinoie@nifty.com

障害者支援施設 **あかりの家** 〒671-0122 高砂市北浜町北脇504番1 TEL(079)254-3292 FAX(079)254-3403

自閉症成人施設 **あかりの家** 〒671-0122 高砂市北浜町北脇504番1 TEL(079)254-3292 FAX(079)254-3403

相談支援事業所 **あかりの家** 〒676-0081 高砂市伊保町中筋1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111
E-mail workhome@nifty.com

知的障害者通所授産施設 **ワークホーム高砂** 〒676-0082 高砂市曾根町1704-4 TEL(079)447-3136 FAX(079)447-3136

ケアホーム **希望山荘 日笠** 〒671-0122 高砂市北浜町北脇519 TEL(079)254-3601 FAX(079)254-3403
E-mail auc.clover@nifty.com

ひょうご発達障害者支援センター **クローバー**